

イアンサ.S. ライズリー RI会長テーマ
「ロータリー：変化をもたらす」
2820地区スローガン
「未来へチャレンジ」



2017~2018年度

会長 田口 誠(後期)

幹事 加部東孝浩

ROTARY INTERNATIONAL

大洗

OARAI ROTARY CLUB



前々回の例会報告

第2164回例会2月15日(木)

於・例会場 PM 0:30~1:30

- 点鐘 田口会長
 ○ロータリーソング “われらの生業” 斉唱
 ○お客様紹介 鏡淵委員
 ・根本ひろ美様(水戸東 RC)
 ○ニコニコ BOX 那須委員長
 ・伊藤会員 「大洗ロータリークラブ 45周年記念式典が皆様のご協力のおかげで無事終了することができました。ありがとうございました。」
 ○出席報告 関根委員長

日付	出席	欠席	メーク	出席率	天気
2月1日	22	4	1	85.18 %	晴

○委員会報告

- ★奉仕プロジェクト委員会 田山委員長
 2月22日の職場訪問は「幕末と明治の博物館」を見学する予定です。12:00にキャンプ場のところに集合してテント内で昼食をとり、12:30より1時間ほど見学する予定です。ゆっくり見学を希望される方は自由に見学してください。出欠表を回覧しますのでご記入くださいますようお願いいたします。
 ★創立45周年実行委員会 伊藤委員長
 大洗ロータリークラブ45周年記念式典が皆様のご協力のおかげで無事終了することができました。ありがとうございました。これからのために式典マニュアルを作ろうと思っておりますのでご意見のある方はわたくしまでお願いします。

○幹事報告

- ・幹事メモの報告

○委嘱状授与

2018-19年度地区青少年奉仕委員会青少年並びにライラ委員に今年度に続き、小野瀬会員が委嘱され、委嘱状が田口会長より授与された。

○卓話 「ライラセミナー報告」 小野瀬青少年奉仕委員長
 10月に大洗子どもの城で行われたライラに若い社員の石田君が参加しました。本日ライラの発表を予定してましたが、今朝風邪を引いたと連絡があり、急遽私が報告をします。ライラ研修は今年からまた1泊2日から2泊3日になり、参加者を集めるのに苦労をしましたが、内容が充実出来ない

という理由で来年度も2泊3日になりました。



ほとんどがローターアクト、インターアクト、留学生で占められています。また何人かは2泊3日は無理なので、1泊2日を交代で参加しているという状況です。企業の負担もアップもするし、参加者の負担もあるので1泊2日で如何に充実させるかを考えるべきではと提案しましたが脚下されました。昨年度、一昨年度と1泊2日のライラ研修に参加させてもらい、充分充実していたと思ってましたが、戸谷委員長の考え方は違っていたようです。一般参加を増やそうと各クラブに呼び掛けていましたが、例年通り少なかったように思います。青少年委員会のメンバーのクラブから一般参加している人がほとんど居ない状況です。ライラ委員会のメンバーからの一般参加も大洗と水戸西からしか参加して居ません。呼び掛けるのも必要ですが、せめて青少年委員会のクラブからは推薦すべきじゃないかと思えます。参加してみると必ず良かったと言って貰える様なライラ研修だと思っています。もっと自信を持って参加を促すべきではと思います。来年度も大洗子どもの城でやります。またご協力をお願い致します。そして最後に昨年の大洗神社での、皆様の清掃協力と参加のお礼を申し上げます。

前回の例会報告

第2165回例会2月22日(木)

於・幕末と明治の博物館 PM 0:30~1:30

職場訪問

★職場訪問レポート（幕末と明治の博物館 HP より）

大洗の美しい海に近い、緑の松林に囲まれた高台という恵まれた自然環境のなかに「幕末と明治の博物館」があります。当館は幕末の志士であり、のちに宮内大臣になった田中光顕[たなか みつあき]伯爵によって昭和4年に創立され、80年以上の歴史をもっています。なお、当館では、野外施設として、「森林浴の森日本100選」の美しい松林の中で、緑の自然を体感できる「大洗キャンプ場」も運営しております。当博物館は、平成24年に再建した聖像殿、平成9年に増築した新館（エントランスホール、映像ホール、総合展示室）、昭和7年に建築した別館（第1～4展示室）があります。見学は、平屋建てのため、順路にそってスムーズに移動できます。展示作品は「近代日本の夜明け」を学びながら、幕末維新の志士たちの息づかい、体温が伝わってきます。



聖像殿の中央には明治天皇の等身大銅像が安置され、背後には木村武山筆「神武天皇御肖像」が掲げられています。

★著明莫大乎日月 崇高莫大乎富貴 徳川慶喜筆



七言二句。「著名なことは、太陽や月に優るものはなく、崇高なことは、富貴に優るものはない」の意。

徳川慶喜 [とくがわ よしのぶ] 1837(天保8)年～1913(大正2)年水戸家九代藩主斉昭[なりあき]の七男。幼名・七郎麻呂[しちろうまろ]、字は子邦[しほろう]、号は興山[こうざん]。七郎麻呂は11才の時、将軍の指示により一橋家を相続し、元服して、従三位近衛中将に叙任され、十二代将軍家慶[いえよし]の一字を賜り慶喜と改めた。1866(慶応2)年、十五代将軍に就任し、幕政改革・軍制改革に着手、つねに高圧的な討幕府と対峙し、その誉れ高い英知をもって政治的困難を乗り越え、

自らの決意によって徳川幕府の幕引きである大政奉還(たいせいほうかん)を演じた。明治維新により、慶喜は政治の表舞台より去る。静岡時代(1897 明治30まで)は、ごく一部の身内との交流を除いては、外部との接触を避け、鷹狩り、投網、能、自転車、写真撮影など多彩な趣味に打ち込んでいた。そして東京転居後、明治天皇との謁見が実現し、一時は朝敵とされた慶喜は、名誉回復を果たしたことになる。さらに公爵を授けられ、維新の功労者の一人と評価されるようになったのである。

★愛宕山集合之図 (あたごやましゅうごうのす) 月岡芳年画



桜田門外の変をおこした水戸・薩摩藩の18人が、1860(万延元)年3月3日の早朝、雪降るなか芝愛宕山に集合し、これから井伊直弼[いい なおすけ]の暗殺に出掛ける準備をしている様子を描いている。

★桜田門外襲撃図 (さくらだもんがいしゅうげきず)



有名な桜田門外の変を描いたもの。図中の白タスキをかけているのが、尊攘派武士たち。図の左側に太刀先に首を刺して走っているのは、有村次左衛門(薩摩藩士)で、彼が井伊直弼[いい なおすけ]を討ちとったとされている。

★好文亭四季模様之図(こうぶんていしきもようのす) 巨セ ン幽画



通称「四季之図」と言われる。水戸藩主斉昭[なりあき]が1843(天保13)年に偕楽園を開設し、その周辺の桜山・丸山を含めて常磐(ときわ)公園という。この絵は、斉昭が江戸・駒込の藩邸に幽居の身となった際、斉昭を慰めるために、「四季之図」が描かれ、献上したものとの言い伝えがある。なお図中左上に、1851(嘉永4)年松栲清草の識語としてこの「四季之図」由来が記されている。

★春秋山水図屏風 (しんじゅうさんすいずびょうぶ) その一 田中頼章画



春と秋の山水図が六曲一双の屏風に各々描かれている。この絵は春霞のかかった風景に桜が咲き木々の息吹きを感じさせる作品である。

次回例会 第2167回例会
3月8日(木) 12:30~

於: 例会場
卓話「年男は語る」坂本会員

今月は水と衛生月間です。

今月のロータリーレート \$1=¥108